

# メタン発酵バイオマス発電



創エネ

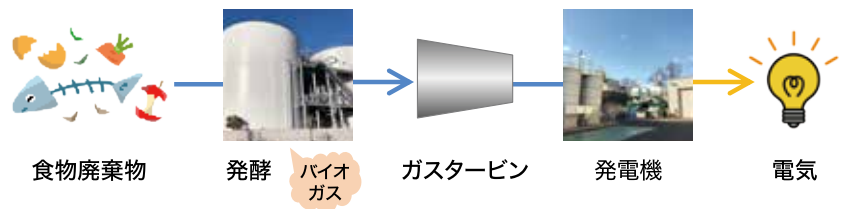
- 家庭やスーパー、工場等から出る食品廃棄物や紙ごみ、汚泥を原料とし、再生可能エネルギーであるバイオマス発電を行います。
- 発電した電力は、固定価格買取制度 (FIT) を利用して電力会社に20年間売電します。
- 自然から得られた資源を可能な限り有効利用する発電であり、地域の循環型社会の構築に貢献します。

## ◆ 取組概要

- 取組背景**
- **脱炭素化社会実現への動き**  
欧州を中心に、再エネ電力への転換が進む中、日本政府も2020年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と世界に向けて表明。今後、様々な施策の展開が予想されます。
  - **西松建設の再エネへの挑戦**  
西松建設は2021年に「RE100」と「SBT」への参画を表明しました。再生可能エネルギーの創出を通して、地球温暖化の防止に貢献していきます。
- 
- 事業概要**
- 食品廃棄物を原料として発電するバイオガス発電所の建設・運営を行います。
  - 現在計画している発電所は、出力1,100kWで、年間発電量は約850万kWh、一般的な住宅3,400戸分の消費電力に相当します。

## ◆ メタン発酵バイオマス発電とは

生ごみや、家畜糞尿、紙ごみ、汚泥などの廃棄物系バイオマスを、嫌気的環境で微生物により発酵させメタンなどのバイオガスを発生させます。メタンは可燃性ガスのため発電に利用できます。



## ◆ 循環型社会の形成

私たちの生活からは様々な有機廃棄物が出てきます。例えば、食品残渣の多くは焼却処分されています。メタン発酵バイオマス発電は、これらの廃棄物系バイオマスから、発電するとともに、バイオガスを発生させた後に残る消化液を液肥として地域の農地へ還元することで循環型社会を形成できます。

